

駒場 松桜会報

財団法人 駒場松桜会 東京都目黒区大橋 2-18-1
都立駒場高校仰光寮 TEL (466) 7579 振替口座東京28486

目次

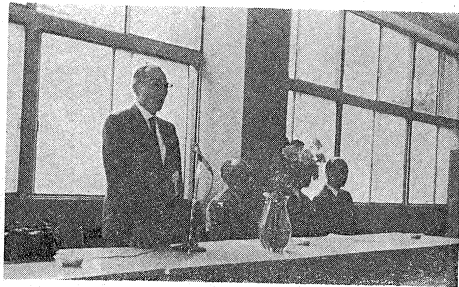
一面 校長 總會
新入會員名簿

二面 幼稚園だより
報告

三面 報告その他

四面 支部だより

・お知らせ	体育祭	6月17日
	学園祭	9月22・23日
	秋の観劇会	10月14日（金）
	定例観劇会	6月10日
	7月29日	芸術座
	9月9日	夫婦善哉
		演舞場
		松竹新喜劇
		芸術座



校長先生のお話

理事 久保しげ

四月十三日、丁度利博士が、臨時に互つての病氣に罹り、その会を母体生徒より一時閉止せしむるの委しき説明、並に定例の状、注意事項を徹に入手し、細心としておこなふこととした。外人にして日本に於けるにはない病氣が、一罹患者に、率は婦人に殊多し、又出生の赤児に對するもの多し、そのお話を聴き、一同校長等、深固に會意した。

当日は会費として、粗糲さきお茶とお菓子、茶室には、一時預きました。お天気もつよく強風もなく、絶好好遊の場となり、或最成例年の運動會志のこころもあつた四時、閉会いたしました。

この数年、總會の出席者

新入会員の声

故郷

しく見つめていくこと、
etc, etc……この

能條 央子

大学入試と高校卒業とい
る懐しい想い出を胸に私
う人生における最初の大き
真摯に生きて行こう。

な曲がり角に立って、早く
大学に行きたいという気持ち
いつまでも、いつまでも

ちと、いつまでも駒場から離れたくないという思いが

四ホーム

宮下 真一

この三年間の想い出は
全て友との出会いの思い

から、という感じがします。中学時代の単なる地理

さる友にめぐり逢えようか
劇場で得た友は一生の友に
条件から友たちになつて
た時とは違つて、趣味が
じと。ウラブが一着で

また、常に真心をもつて
は足りなくて、相手に

るような性格・性質に強
興味を引かれて友だちに

☆ ☆ ☆
 つていったようです。

僕の前に何が待ちかまえているかは、問題ではあ

「名も知らぬ遠島より流れ」て行く椰子

秋には駒場の級幹事の方
実がどこへ流れて行くか
問題ではありません。た

これからも、もつと友だ
ができるだろうという事

確かなことです。否、も
と友だちを作ろうという

の成果もあつたのか本年
約二百名余の総出席者中
来るべき国際社会に於
て、美は白や黒や黄色

場の方が約三分の一の六
 名余でした事を喜んでお
 ます。

だ毎度の事ながら級幹事……という気持は分らない、今年では会報の発行を断

後にいたしましたので、
会費はないといっても人
によって会場の準備等に

を出してのお返事が半分
こない事、又出席といっ
凡て予定がたなくなり
す。どうぞあとで、と思

こない方が六〇名、連絡なしで返事は必らず定めないで出席者が二三名とれた日までに出して頂く

う状態には会の運営上困—をお願いいたします。

区別なく、オモロギーを
超えて、世界的規模で、
その人の人格・内容と、自
己の人格の内容が、つき
合うような交際関係を、持
たいものだからと思うの
です。

友に恵まれて
五ホム

特訓を受けた。「エ
ンヤコリン ニーヤコ
リン」私達は一団となり
かけ声は受け進み、それ
が私は、大きな励みだっ
た。「保体科の生徒なんだ
自分には負けるな」と申し
て、私は自分に言う「さあ
せ、ひたすら泳いで。砂が
出てくつゝ、きんぎょが
いるところまで。」

一団として何かをやりな
げる事によってさしこみ
しめながら泣いていた。あ
んなとき、私達は他高
校生が参加する、遠足
保体科での高校生活を送
ってきた、あれから三年間
が、今ここで終わるのでな
い。

新名簿発行について

を振り返つて、ついに突に様々
な思いが、何かに通じてゐる思
ひ。なかにも、自分がかつ中
になつてしまつたことなど、
より一層痛く思ひ出される
もの。

「駒場へ入つて明るくな
つたわね。」と母に言われ
たことが、今でもよく覚えて
ゐる。それ程多くの苦しみは
ないが、それ程多くの喜びも
ない。機嫌となぐらふ話
の機会を、そして、数々の
事をもつて、

前の名簿を四十七年に発
行して、四年目の五十一
年の總で、新名簿発行に
つて五十二年秋までに発行
する。事を出発者の手によ
り発表、つては單に安く
する、めには、それ程多く
の苦しみがある。なほはな
らない事、各級の確かな名簿
を六年来、出て出て、頂く
事を、お願いして、まじした
が、

活版印刷に便宜を計るから
いせ、いせ部数を少しふ
や、事といわれ、只、合理
事、その事に専念してい
る。次でござい。

三月からは評議員有志の
方連でも手伝つて頂いて、
カドや原稿の整理をして
わきます。何となく六年来
には全部の原稿を印刷に
廻したる努力中、ございま

王、會員の意見を印

[illegible]

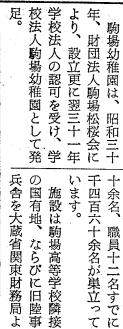
会報発行日変更

中山ますみ

遠赤実習生、保険科で最初の初年度生活生の想い出だ。泳ぐのにては麗々しくおどかされた。横濱を受ける悪天候だった。受けながら不安な気持ちで互いに抱き合うなかで懇話会に決まった。私にはがら下手で裏切前にもう一度、改めて今年の総会に再下す。

昨年までは三月の卒業式前に発行していましたが評議員会で協議の結果、今年から総会の機軸も遠方の皆さんへの報告をかねることに決めました。そのあたりというところですねあつたので、改めて今年の総会に再下す。

昨年度の宿務に計りました。今年同様総会後の旅行に賛成の方が多いと数えたので今年後半の旅行と総会後の旅行に定めました。従って旅の方への準備は六月初め頃になります。よろしくご了承下さい。

卒業製作の
いす

ご挨拶にかえて

都立富士森
高等学校長
兵藤 信彦

…四年余り教領先生としていろいろお…▲
▼…世話様になりました兵領先生から駒…▲
▼…場でのご感想を頂きました。 …▲



今後は、三王子の富士講高僧高僧が、
校で校長、年目を迎えたいと
願う。勤勞の経験があり、役
に立っております。何かと
したいことと。
勤勞高僧、松茂の会です。
ますの、高僧を心から祈念
いたします。

(支出の部)

取入決算高 ¥3,159,006						(支 出 の 部)					
支出決算高 ¥2,672,647											
収支純高 ¥486,359(51年度格納)											
(収 入 の 部)						科 目					
科 目	50年度予算	50年度決算	過不足	科 目	50年度予算	50年度決算	過 不 足	科 目	50年度予算	50年度決算	過 不 足
結 核 金	53,830	53,830	0	会館職員賃	200,000	207,430	7,430	備品購入費	60,000	59,690	-310
新入生会費	800,000	816,000	12,000	全 体 費	60,000	82,500	22,500	事務 費	700,000	853,150	153,150
年 会 費	1,400,000	1,820,000	430,000	通 信 費	800,000	688,150	-111,720	渉外 費	120,000	94,380	-25,620
旅 行 料	6,000	12,276	6,276	学 字 費	250,000	250,000	0	功 能 開 発 費	80,000	87,220	7,220
運 行 費	50,000	117,100	67,100	学 本 金 償 還	250,000	250,000	0	学 本 金 償 還	50,000	50,000	0
制 作 費	330,000	327,800	-2,200	学 庫 費	69,830	55,000	-14,830	合 計	2,639,830	2,672,647	32,817
合 計	2,639,830	3,159,006	519,176								
基本財産増減金						遊学費増減金					
49年度増減金	2,320,550	49年度増減金	646,795	49年度増減金	21,182						
利 息	271,353	利 息	24,182								
50年度増減金	50,000	50年度増減金	60,000								
合 計	2,642,083	合 計	730,977								

(支部の部)

収入予算高 3,146,359 支出予算高 3,146,359					(支部の部)				
(収 入 の 部)									
科 目	50年度予算	51年度予算	増 減	備 考	科 目	50年度予算	51年度予算	増 減	備 考
雑 収 入	53,830	486,359	432,529		特別振興費	200,000	220,000	20,000	
新入会費	800,000	800,000	0	2,000×400	備品購入費	50,000	70,000	20,000	
年 会 費	1,400,000	1,500,000	100,000	500×3,000	会 務 費	60,000	80,000	20,000	総会費負担のタメ
銀行利息	6,000	10,000	4,000		全 員 費	700,000	1,000,000	300,000	名簿発行費メタノ
雑 収 入	50,000	50,000	0		通 信 費	800,000	800,000	0	
親 類 収 入	330,000	300,000	△30,000		道 交 費	120,000	130,000	10,000	
合 計	2,639,830	3,146,359	506,529		装 束 費	250,000	300,000	50,000	
					雑 費	80,000	100,000	20,000	
					幼稚園立	250,000	250,000	0	
					基本金積立	50,000	100,000	50,000	
					予 備 費	69,830	96,359	26,529	
					合 計	2,639,830	3,146,359	506,529	

(支出の部)

(収 入 の 部)				(支 出 の 部)			
科 目	11年度予算	11年度決算	過不足	科 目	11年度予算	11年度決算	過 不足
種 別 金	486,359	486,359	0	材料購買費	220,000	0	220,000
新入会費金	800,000	810,000	10,000	商品仕入費	70,000	49,550	20,450
年 生 費	1,500,000	1,685,500	185,500	会 費	80,000	60,289	19,711
年 生 利 息	10,000	18,136	8,136	事務費	1,000,000	1,007,640	△7,640
通 収 入	500,000	116,000	66,000	運 賃	800,000	283,868	516,132
販 収 入	300,000	392,500	92,500	渉 外 費	130,000	127,750	2,250
合 計	3,146,359	3,308,605	362,246	賃 料	300,000	300,000	0
				賃 金	100,000	43,610	56,390
				労働賃金付	100,000	250,000	△150,000
				基本手当金	100,000	209,000	△9,000
				子 費	96,359	0	96,359
				合 計	3,146,359	2,322,707	823,652
延証書類類・帳簿と面合の結果、収支実、正簿に 反映されている事を証明します。				基本財産勘定金			
昭和52年4月11日				当年度現金金			
監事 佐伯 信哉 ㊟				50年度現金金	2,642,083	50年度現金金	730,977
日野千枝子 ㊟				利 息	163,548	利 息	31,555
				51年度現金金	200,000	51年度現金金	37,000
				合 計	3,005,628	合 計	799,532

(支出の部)

収入予算高 4,270,898 支出予算高 4,270,898					(支 出 の 部)				
(収 入 の 部)					科 目 51年度予算 52年度予算 増 減 備 考				
総 結 金	466,359	1,185,898	699,539		会 費 雑費	220,000	250,000	30,000	
新入会員会費	890,000	1,200,000	400,000	3,000×400	商品購入費	70,000	70,000	0	
年 会 費	1,500,000	1,500,000	0	500×3,500	会 議 費	80,000	100,000	20,000	総合実業協/ノタ
銀行利息	10,000	15,000	5,000		事 務 費	1,000,000	1,200,000	200,000	
雑 収 入	50,000	70,000	20,000		通 信 費	800,000	1,000,000	200,000	
義 捐 収 入	300,000	300,000	0		渉 外 費	130,000	150,000	20,000	
					雑 学 費	300,000	300,000	0	
合 計	3,146,359	4,270,898	1,124,539		雑 費	100,000	100,000	0	
					設備関係支出	250,000	250,000	0	
					遊本金繰上	100,000	200,000	100,000	
					予 備 費	96,359	50,898	△45,461	
					名簿雑費費	0	600,000	600,000	全員名簿発行
					合 計	3,146,359	4,270,898	1,124,539	

使用、租借、譲与、所有に改造して利用せしむる。その土地、建物、物を速かに買取ることと条件を付して、学校法人の認可を受けながら、財政面の裏づけのないまま年月を経過し、昭和四十七年に土地の間に売却契約が成立し、土、地、建物を取得し、四十八年一月一日、漸く待望の新園舎が竣工されました。子どもたちの活動の予想に、教えた場とと深まりに、敷地の場の環境づくりの大切さがあらためて思いつづ、松林公園緑地の御援助より、松林私立幼稚園に公費助成の途が開かれぬまま、

多額の負担に耐える園児保護者の協力に感謝しつつ、今後とも教育内容の充実に努力致したく存じます。
(負債はなお二十年残ります。が……。)

現代に失われつつあるものを教育の源に求めて、卒業製作に取り組む子どもたち

なるまで紙やすりでみがく
新しいやすりは、ひっかつ
たみたいになるけど、何回
もシユツシユツやつてう
ちに、ザラザラがとれてポ
ロポロになるの。あしは長
いあし二本と、短かいあし
をささえるばうをつけた。
ささへばうの上に板を六ま



いすを作っているところ

「お母さん、子どもたちの言葉でのお返しをしますか？」
「おままだいじやないやチヤブル、小さい組にあんなにやめたにつくたの、いすの形はどうなっているか、何本木使っているかよく調べているよ」として、またつづきながら、この鋸で切った。今度のはつづきながら、



應子(2南)

51 年 度 職 員 異 動

＜転入者＞

教諭 赤松 儀彦 都立田園調布高校
教諭 小野塚克治 都立小岩高校
教諭 谷本 忠志 都立向丘高校
主事 梅原 克子 都立第一商業高校

＜転出者＞

教諭 菱刈 隆永 都立千歳高校教頭
教諭 山村 良橘 都立日比谷高校
主事 本橋 米子 都立新宿高校

事 幹 級 回 29 場 駒

1 ホーム	長 正晴	平野ひかる	6 ホーム	百瀬 威	村橋麻里子
2 ホーム	熊谷 英樹	坂田美穂子	7 ホーム	鈴木 寛	益 伸子
3 ホーム	大竹 憲昭	小森 紀子	8 ホーム	樗沢 弘	石井 友子
4 ホーム	石川 豊	藤永 須美	保 体 科	合田 靖	中山ますみ
5 ホーム	宮原 直人	深沢登志子			

お便がまいりました……◇

今年の北海道は三十年の寒波襲来で、道東では

低気温が零下三十度とか
録された由でした。札幌
はその半分の零下十五
度でしたが、暖冬が続い
いたので、殊の外お寒さ
身にしむ思いです。雪も
水道の凍結続出と報じ
れております。

六月の花咲く良い季節に
目にかかる予定になりま
す。それでも冬にも楽しみ
ございます。全国的に有
りになりました雪祭りと年
大さくなり、雪の祭典と
道内、道外だけでなく
外国からのお客様も沢山
見えてございます。お寒
い折でございますが、一
おいでになりませんか。

33中 池田和子

火の
熊本
国から

本年は田園風景も豊か
麦畑の中にある豊屋徳永
て五月同窓会を開きまし
新らしく熊本に移住され
した増永様も参加されて
員八名（諏訪様、上塚様
片岡様、橋原様、高田様
増永様、池部）雨の中元
に集り四方山話に興じ楽

杉山様、佐藤様、松村様、福井様と久々に多数御出席が来られてまた楽しい新年会が出来ました。福井様の御寄折で校歌の合唱も声高らかに今年は皆様によい年と信じます。

鎌倉
大海原を
のぞんで
九月二十五日初秋の気持
お声がお若いのに嬉します

よく晴れた日に、鎌倉松緑会を開きました。会場は青く広々とした大海原をのぞむ由比ヶ浜のマリンプラザ。鎌倉在住の者、湘南地区からの来会者多数、三十九名の盛會。例によって校歌に

24南 平岩百倉子



からの
お

始まり、昔なつかしい歌の
合唱です。かり若ながら、
次はコチロー、フウスト
にまで挑戦。山岡さん24西
のピアノに合わせ、まぢが
いながらも楽しんでおしま
い、というわけで、三時
間残はあつと一時間には
なりました。みなさん、又
来年を約して教会致しませ
う。

岡 晩 秋 に 静

後岡部長のお世話で、入舟
總本店で同窓会を開きまし
た。

昨年十一月四日秋の午

陸
大雪消え
て春關曼

29 東田中様29中鈴木様41中
池田23中。途中から石上様
28西もお出でになり積る四
方山話に時をわすれて楽し

葉雲の爲沢山の枝が折れ
 ましたが大難無難は今年
 も見事です。富山の五郎様
 茶道の御指導で、高石様エ
 レクター、水泳の先生と
 して共に御活動。勝屋様も
 お元気で。石川屋様は今
 月の御長男に、三郎様御祝
 い午後を過ぎました。
 市外で連方のご連通の方々
 が都合悪い目にかかれ
 ませう残念でございました
 支那も転出された方もあり
 淋しくなりました。
 最近県内に暮れないさま
 しい第三、勤勞ご卒業の方
 たちでございませう。お
 待ちしております。

この程御主人様で遊去あそばされ如何ばかりお力落しの御事かとお察し申し上げます。この度支部のお世話を伊丹様をお願いいたしました。

ご用の節は福岡五九一

に四十年を差し上げて頂
ました教々の思い出と感謝
は胸にあふれます。勝手な
がら紙上をおかりしまして
支部の皆様の益々の御幸を
お祈りしてお別れ申し上げ
ます。

26南 堀田富美子

長崎 可愛い
お仲間
入り

さで、春が待たれましたが桜も満開に近い三月二十二日夕方振りに同窓会を開きました。二四西吉様が御

った御手料理の毎日を過ごした。十九東井上様は御主人様の御看病と御自身の目の病気の為御電話でお声だけ参加しては、駒場12回参加様は幼稚園と、四歳児の坊ちゃん様二方御同伴で今は子育てに忙しい時期ですが活発な御子達の参加でこの会がより活々とした。

また御集りを持ちたいものと話合つて、今日すべてを取りしきつて下さいました

35西 梁井美代子

いましたが、十月の例会は御三方ともお元氣に御席頂きまして、出席者二大變嬉しく思いました。

付、物故会員

12 東 戸荊綾子様
22 東 堀川寿子様

武蔵野
なつかし
い唱歌

十月二十八日武蔵野公
堂の和室で集りました。
大体一年に一度秋、そして
このところ会場も殆んど
同じ場所といふ事でいら
しやる方達も反って安定
があつていいんではないか
と思つております。

先生はお元気でいらっしやるんですが丁度お天気も少し悪うございましたのでお見えになりませんでした。

西の山田喜代様は九月始にお亡くなりになり淋しなりました。9回から37回まで三十余名。幹事の方達のいろいろのおもてなしで夕方までおしゃべりや校歌感謝など昔ながらの歌歌って楽しい半日を過ぎました。9東 久保しげ

〈編集後記〉

と秋の観劇会の事が頭に浮かんできます。同窓会の仕事は走馬燈のようなもので

校庭は今、梅も桃も桜もすっかり青葉になって毎日コートでは楽しい球の音がしています。

9 東 久保しげ
37 中 吉田 幸

日曜・祭日の仰光寮使用は出来ません